

年中行事を知る ～子どもチャレンジ教室



12/24 開催 手作りの「笑門松」の前でポーズ！
(後列左より) ご指導いただいた方々：安斎さん、蓮沼さん、佐藤さん、吉田さん、岡崎さん



松や南天の実などの飾りつけ



大きな「みずき」へだんごさし



1/14 開催 ミニ「だんごさし」を持ってポーズ！

お正月・小正月の伝統行事

小学1～6年生の子どもたちを対象に、12月24日(土)に「門松づくり」、1月14日(土)に「だんごさし」の体験、製作を行いました。
講師は、福島県森の案内人の蓮沼昇さん、安斎正博さんのお二人です。
(「門松」には他に3名の指導者)

「門松」は、新年に歳神様が訪れるための目印と言われます。
参加した子どもたちは、切り口が笑っているように見える竹の周りに、松竹梅や南天を飾りつけ、笑門松を作りました。
「だんごさし」は、旧暦1月15日に「みずき」に米の団子を飾り、五穀豊穡を願います。
短冊、まい玉、小判等の飾り付けを、お母さんと一緒に楽しむ子どもの姿も見られました。
講師からは、各行事の由来や過ごし方をはじめ、環境の大切さについても、分かり易くお話いただき、子どもたちは真剣に聞き入っていたようです。

「地域支え合い活動」 ご活用下さい

「ちょっとした日常生活上の困りごと」に協力する活動を行っています。現在の登録会員は、利用会員146名、協力会員122名です。
これからも随時会員の募集をしていますので、伊達中央交流館へお問合せ下さい。

電話 551-1285

《活動内容》

- ・ゴミ出し 1回
- ・片付け (15分)
- ・庭手入れ (15分)
- ・雪かき (15分)
- ・灯油入 1回
- ・電球交換 1回

・・・活動報告(令和4年4月～11月)・・・

- 利用依頼件数…62件
- 実際に協力できた件数…61件(回数にして289回)
※うち4件は毎週定期的にゴミ出しの活動
- 内 容 可燃ゴミ出し…281回、資源ゴミ出し…5回、粗大ゴミ出し…1回、庭手入れ…2回

※お手伝いできる範囲(1回15分程度の活動)を大きく超えるご相談は、お受けできませんでした。

NPO法人
伊達西地区

自治協
だより

第40号

発行・編集
NPO法人
伊達西地区自治協議会
事務所:伊達市北後22-1
発行責任者
理事長 小野孝雄

- 1面 子どもチャレンジ教室・地域支え合い活動
- 2面 ベーシックヨガ教室・宮沢賢治の文学世界Ⅷ⑥・伊達甚句に唄われた伊達盆地を巡る
- 3面 伊達町の移民略史・味噌づくり教室・伊達西地区健康講座Ⅱ
- 4面 おらが町内会パート3 駅東町内会・挽き立てコーヒーご用意
してます・編集後記

下記のQRコードから、過去の「自治協だより」をご覧くださいませ
(市民活動支援センターHP)



ベーシックヨガ教室 (ミドル世代)

12月1～22日(毎週木曜日)の全4回、夜間(19～20時)に開催し、20～50代の16名が参加しました。

講師は、yogato主幸 ヨガインストラクターの深谷恵さんです。

初心者も取り組める呼吸法をはじめ、太陽礼拝の基本的なアーサナ(ポーズ)や、バランスポーズ等もご指導いただきました。

参加した皆さんからは、「リフレッシュできた」、「体のゆがみが解消」、「教室翌日は心地良い」などの感想や、「次年度も開催」、「夜間の開催」などの要望が寄せられ、高評価をいただいた講座となりました。



呼吸法を教示する深谷講師(左下)と、アーサナの風景

宮沢賢治の文学世界Ⅳ

12月13日、1月17日(各火曜日)に、宮沢賢治作品の「貝の火」を解説いただきました。

「貝の火」(2)では、「子に伝わらない親の心配」、「破局へと導く宝珠の輝き」など、賢治の描く不安や豊かな表現への感想が寄せられ、また、「貝の火」(3)では、「失明という結末と父親の想い」、「現代にも通ずる内容」などの感動や奥深さの声も寄せられました。

今回をもって高野保夫先生の講座は終了しましたが、新年度は新たなテーマで開催検討中ですので、お楽しみにお待ちしております。



傾聴する受講者の皆さんと、作品を解説する高野先生(右下)

ぐるっとだてⅡ “伊達甚句”に唄われた伊達盆地を巡る

11月30日(木)、12月7日(水)の2日間にわたり、(元)福島地理学会員の八島俊雄さんを講師に、伊達盆地(主に、梁川、保原地区)を巡るフィールドワーク、そして、自然環境やそこに暮らす人々の生活についての講座を開催しました。

1日目のフィールドワークでは、出発前に、参加者より「伊達甚句」の曲や踊りを披露いただくなど、思い掛けないサプライズがありました。

また、八島講師の車中等でのユーモアやウィットに富んだ解説に、参加者(20名余)にとって、笑いの絶えない



八島講師(車中説明)と、保原総合公園での解説風景

楽しい行程となりました。

2日目の座学では、フィールドワークの確認、振り返りと、盆地形成の変遷や当時の営みを丁寧に説明いただきました。

講座を通して、参加者の皆さんそれぞれ、伊達盆地の歩みに思いを馳せていたようです。

↓丁寧に解説する八島講師と、参加者の受講風景(2日目の座学)



伊達町の移民略史

1月19日(木)、伊達市文化財保護審議会会長の菊田正男さんを講師に、明治以降、伊達町から移住された方々や、当時の時代背景などについて解説いただきました。

自然災害等による生計維持のための北海道をはじめ、ハワイ、北米、ブラジル、ペルー等への海外移住、そして、昭和時代の国策として満州移民まで、受講した皆さんは熱心に耳を傾けていました。



菊田講師(上)と、参加者の受講風景

味噌づくり教室

1月20・27日(各金曜日)、キッチン醬油株式会社の大戸さん、小野さんを講師に迎え、味噌づくり教室を開催しました。

仕込み作業は、塩と麴を混ぜ、水を加えながら、蒸した大豆と混ぜ合わせ、樽詰めして発酵させます。水や塩加減を調節する方もありました。

今後、自宅で2回の天地返しを行い、秋頃には、旨味や甘みが熟成されたおいしい味噌が出来上がります。

今年も定員(各30名)を上回る応募があり、大好評の講座となりました。



↑仕込み作業風景と、完成した樽詰め味噌←

やさしい短歌教室歌会作品② (藤田美智子講師・選評)

うつすらとすじ雲のびる秋空を見上げるように紅バラの咲く(みきこ)

・ 秋空の描写がいい。また、紅バラを擬人化したところに表現の工夫がある。

ゴールド
ブルー
黄金より青に変わる免許証ルールの順守肝に銘ずる(かずき)

・ 今後はルールの順守を注意するという下の句に作者の人格がうかがえる。

・ 一人居にテレビの音量高からむ「ばあちゃん外まで聞こえているよ」(うたこ)
・ 孫の言葉を入れたことで、状況がよくわかり、ほのぼのとした味わいを生んでいる。

伊達西地区健康講座Ⅱ

介護予防と在宅介護

1月25日(水)、第2回の健康講座として、「体と脳のエクササイズ」と、「在宅介護への備え」の二部構成で開催しました。

第一部は、市健康づくり講座とのタイアップ講座として、ふくしまスポーツプロモーション伊藤朋子さんを講師に迎え、フレイルや介護予防のための運動を、イスを効果的に活用しながら

楽しく実践しました。

第二部では、伊達地域包括支援センター所長大友たつ江さんを講師に、包括支援センターの業務概要をはじめ、在宅介護を中心とした最近の相談内容についてご紹介いただきました。介護等について気軽に、身近に相談できる窓口として、参加者の皆さんは認識を新たにしました。



第1部「体と脳のエクササイズ」の風景と、フレイルを説明する伊藤講師(右上)



第2部「在宅介護への備え」の風景

説明される大友所長

シリーズ おらが町内会パート3 駅東町内会

一. 誕生して35年

駅東町内会は、聖光学院高校と伊達中央交流館間にある会員数約130戸の町内会です。

平成元年の駅前町内会分離に伴う新設の町内会です。会員数の増大に伴う分離・独立ですが、現在でも「駅前四町内会連絡協議会」を結成し、駅前集会所の管理・運営、住民福祉会、自主防災活動、環境整備事業など協力しながら活動しています。

二. 交流と融和が活動の柱

地域外からの転住者が大多数を占めているので、町内会活動の主目的は「交流と融和」です。

道路愛護デーやクリーンアップ作戦などの通行事は勿論のこと、町内会独自の活動としての生垣の消毒、花壇の整備、レクリエーション、新年会の開催などを通じて、会員同士の交流・融和を図っています。

三. 環境の美化

地域住民の安全、安心を図るために、防災、交通安全、防犯など町内会活動に託される課題は多くあります。

本町内会には、三ヶ所の公園および二ヶ所の花壇があります。区画整理に



環境美化活動



レクリエーション



チャペルの塔

よって出現した空地(市有地)を借用して整備してきました。花の植え付け(夏向けにサルビア、マリーゴールド、冬向けにパンジーなど約200本)、除草が中心です。班長や役員などの協力により、年中花のある環境を目指して活動しています。花壇は小中学生の通学路にもなっているため、彼ら彼女らの情操の育成にもなっていると自負しています。

四. チャペルの塔の撤去

町内の象徴的な建造物であった「チャペルの塔」が撤去されます。共同アンテナが設置されるなど住民結集の象徴でしたが、経年劣化、三度の地震被害などにより、周辺住民の不安も高まり、市の指導により令和5年度内に撤去されることになりました。惜

しむ声も大きいですが、跡地を公園用地として活用し、住民の福祉活動に寄与できると思われます。

五. 今後の町内活動

役員のなり手不足、活動の沈滞化など、町内会活動の課題は他の町内会と共通しています。

最近の会員の動向は、変化しています。令和2年度には、町内で7人の赤ちゃんが誕生しました。急遽規約に出生祝金条項を追加したほどです。また町内会の諸活動に、若い人の意見が出るようになっていきます。

諸階層の住民の意見を丁寧に吸い上げる努力が従前以上に重要になっています。

(駅東町内会長 鈴木 克良)

挽き立てコーヒーをご用意してます

伊達中央交流館にエスプレッソマシンを導入されました。挽き立てのコーヒーをご用意しています(一杯100円にて)。お散歩中の休憩や会議の際などにご利用ください。

【利用時間】火～金曜 10時～16時

☕

\\ 挽き立て! //

エスプレッソコーヒー

ご利用いただけます

一杯 ¥100

【利用時間】火～金曜 10時～16時まで

一杯ずつ豆を挽く香り高い本格珈琲
エスプレッソならではの泡立ち(クレマ)も
お楽しみください!!
※エスプレッソの適温67℃でのご提供です

編集後記

立春(旧正月)も過ぎ、梅に鶯の季節も間近だ。
季節感を感じる方が、妙に生活に合致しているし、伝統的な年中行事も。ダブルスタンダードの中で、日々過ごしている。

今年のNPOの行事計画は、人気催事の継続は勿論のこと、新企画も盛りだくさんである。多数の会員の参加を望みたい。

(鈴木克)